

5090

ハ、豚 優良種豚十五頭ヲ自隊ニテ飼育管理シ繁殖用ニ充當スルノ外軍經理部ヨリ豚八〇頭ノ交付ヲ受ケ民家ニ有料依託ヲ行フ

ニ、山羊 陣内食料ニ充當スル目的ヲ以テ目下保有シアル約一〇〇頭ノ陣内飼育ヲ設備中ニシテ別ニ〇〇海岸ニ放牧場ヲ設ケ約一、五〇〇頭ヲ放牧飼育スル如ク計畫中ナリ

終り

5090

極秘

經戰訓第二十五號

本資料ハ登集團貨物廠、浣兵團、輝集團、呂集團貨物廠、武兵團、甲集團、森兵團ヨリノ報告ニ依ル

昭和廿年四月廿七日

被服ノ維持補修ニ關スル戰訓

昭和二十年四月一日
野戰經理長官部

5090

庶務係長

次目

- 一、被服補給ノ杜絶及對策
- 二、被服ハ補修第一
- 三、徹底セル愛護節用

1. 八月分以降内地ヨリノ被服ノ到着ハ皆無ニシテ昭和十九年度製作用材料ハ全然到着ナキ爲整備ニ逐次支障ヲ來ス惧アルヲ以テ應急措置トシテ之ヲ現地取得ニ努メツ、アリ

(登集團貨物廠昭和十九年九月分月報)

2. (イ) 被服ノ補給困難ナル現況ニ於テハ其ノ程度維持ハ一ニ懸ツテ愛護節用ト良好ナル取扱手入ノ徹底トニヨル保存命數ノ延長ニ在ルヲ以テ之ヲ指導徹底ヲ期シアリ

(ロ) 補修材料ハ依然補給難ヲ訴ヘアリテ個人修理モ十分實施シ得サル狀況ニアリ

(ハ) 褪色被服ノ染色ハ作戰上迅速ニ實施スル必要アルモ化學藥品ノ取得困難ナル爲軍ヨリ配布サレタル簡易染色法ヲ參考資料トシテ「ガンビル」染色法ヲ實驗之ヲ以テ各部隊毎ニ實施セシムル如ク指導シアリ

(ニ) 十月中被服ノ廢品別紙(省略)ノ如クニシテ就中襦袢袴下類ノ損耗特ニ甚

小被服（靴下、手袋、襟布等）ノ愛護節用竝ニ之カ廢品ノ徹底的回收ハ各部
 隊ニ對シテ屢々要望シ其ノ實績逐次向上シツ、アルモ一部ニ於テハ未タ徹底

三、徹底セル愛護節用

被服修理ノ要ハ早期修理ニアルハ言ヲ俟タズ又被服品ノ補給ハ到底兵團所要
 量ヲ滿タシ得サル現況ニ鑑ミ各隊ヲシテ被服修理品提出上ノ隘路ヲ積極的ニ
 打開シ以テ程度保持ニ万全ヲ期セシムル如ク通牒セリ
 （昭和十九年十一月武第一五七三部隊）

3. 輸送緊迫ノ爲當方面ノ被服事情ハ漸次低下ノ一途ヲ辿リツ、アリ然レ共補給
 率ノ極端ナル切下斷行、補修材料ノ重點的運用等ニ依リ現有品被服ノ愛護保
 全ニ努メ以テ保存命數ノ延長ヲ圖リツ、アリ
 （輝集團昭和十九年十一月經理概況要報）

二、被服ハ補修第一

1. 被服ハ長期ニ亘ル事變下ニ在リテ他ノ諸物資ト同様補修、再用更生ハ缺クヘ
 カラサル重大使命ナリ

各兵團諸兵ノ着用又ハ保管セル被服ハ逐年程度低下シアル狀況ナルニ鑑ミ之
 カ常時ノ手入保存法ノ徹底ハ元ヨリ早期補修ヲ勵行シ以テ被服保存命數ノ一

ル諸被服ノ處理ニ万全ヲ期シツ、アリ

（昭和十七年一月豫南作戰ニ於ケル呂集團貨物廠ノ業務詳報）

2. 各隊提出ノ補修品ニ依リ考察スルニ提出點數ハ逐次増加シツ、アルモ修理時
 期ヲ失シタル爲廢品處分ノ止ムナキニ至レルモノノ漸増シ就中防暑略衣袴、夏
 襦袢ハ其ノ著裝極メテ粗雜ニシテ個人修理ノ痕跡無キ大修理品ヲ提出シ被服
 ノ愛護尊重心奈邊ニ在リ哉ヲ疑ハシムルモノアリ

セサルモノアリ即チ貨物廠ニ返納セシ廢品回收ノ靴下ニ徴スルニ眞ニ使用ニ堪ヘサルモノハ其ノ五%ニ過キス他ノ九五%ハ補修セハ全部使用ニ堪ヘ得ルモノナリ

戰局ノ推移ニ伴ヒ是等被服資源ハ益々逼迫化ノ現況ニ鑑ミ尙一層徹底セル愛護節用ニ努ムル如ク指導シツ、アリ

(昭和十九年十一月甲集團經理部)

2.被服ノ追送並現地整備能力ノ現況上後方部隊ニ對スル普通被服類ハ古品又ハ代用品ヲ以テ補給スルト共ニ現保有品ヲ最大限ニ利用スル爲從來ノ服制慣行ニ拘泥スルコトナク創意工夫ヲ凝ラシ使用節減保存命數ノ延長ニ努メツ、アリ

尙使用節減ノ一手段トシテ營内者ノ被服ノ着裝ヲ左記ニ依リ實施スルコト、セリ

(1)防暑衣袴(夏衣袴ヲ含ム)ハ廉アル場合ノ外使用ヲ禁止シ防暑略衣袴ヲ用

止ス
(平常ノ營内ニ於ケル服務並起居ノ間ニ於テハ綑上靴、地下足袋ノ使用ヲ禁

營内ニ於ケル作業等ハ特別ノ事由アル場合ノ外努メテ半裸々足ニテ實施ス尙防暑略衣袴ヲ着用スル場合ニ於テハ卷脚絆ハ用ヒサルモノトス

(昭和十九年九月森集團月報)